

4歳児の地域別就園率は昭和41年度において各地域とも5.0%から24.2%の範囲にあったが、その後、いわき、会津、県南、相双の各地域においては、就園率が急上昇し、昭和51年度において47.3%から54.2%の範囲内の就園率を示す状況となっている。

一方、県中、県北、南会津の各地域においては、昭和41年度以降就園率が緩やかな上昇あるいは下降するなどの過程を経て、昭和51年度において12.5%から35.4%の範囲にとどまっている(図2-1-3)。

5歳児の就園率は、昭和41年度には19.6%から49.8%の範囲にあったが、その後、県北、相双、県南、県中の各地域においては、就園率が急上昇し、昭和51年度において73.4%から82.8%の範囲内の就園率を示す状況となっている。

一方、いわき、会津の各地域においては、昭和41年度以降の就園率の伸びが緩慢で、昭和51年度において57.9%となっている。

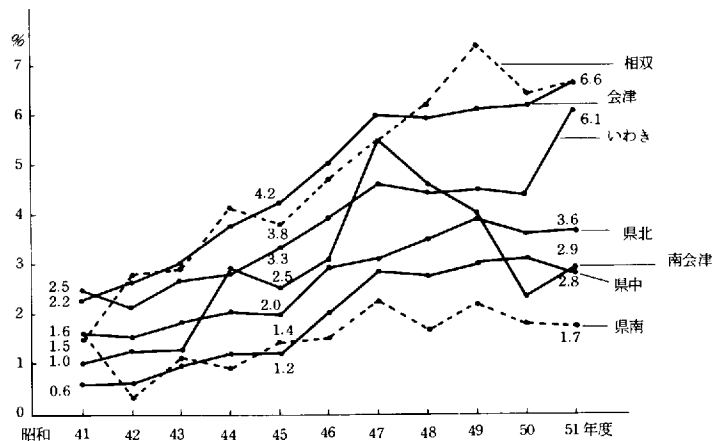
また、南会津地域においては、昭和41年度以降就園率が低い状況で推移し、昭和51年度において24.8%の就園率を示すにとどまっている(図2-1-4)。

従って、今後は、就学前教育の機会均等の観点から、県内各地域にみられる就園率の較差の是正を図る必要がある。

### (3) 保育所の在籍率

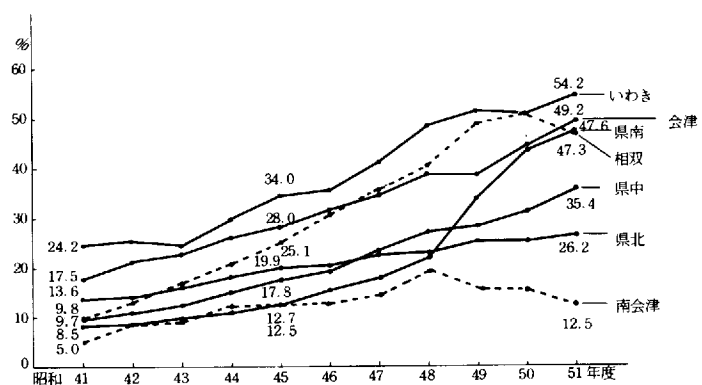
保育所は、児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳幼児を対象とし、毎日8時間を原則として保育を行う児童福祉施設であるが、幼稚園を考察する場合には、保育所との関連を考慮することも必要である。

図2-1-2 3歳児の地域別就園率の推移



注：1. 「総務課推計」(昭51)による。  
2. 就園率=(就園幼児数)÷(幼児数)×100

図2-1-3 4歳児の地域別就園率の推移



注：1. 「総務課推計」(昭51)による。  
2. 就園率=(就園幼児数)÷(幼児数)×100